

## 2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年5月13日

上場会社名 株式会社ダブルスタンダード 上場取引所 東  
 コード番号 3925 URL <https://double-std.com>  
 代表者 (役職名)代表取締役 (氏名)清水 康裕  
 問合せ先責任者 (役職名)執行役員管理部長 (氏名)和田 光伸 (TEL)03-6384-5411  
 定時株主総会開催予定日 2022年6月29日 配当支払開始予定日 2022年6月30日  
 有価証券報告書提出予定日 2022年6月30日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有(アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年3月期の連結業績(2021年4月1日～2022年3月31日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	7,077	60.4	1,757	58.5	1,751	57.3	1,082	44.9
2021年3月期	4,411	20.3	1,108	0.7	1,113	0.7	747	0.2

(注) 包括利益 2022年3月期 1,128百万円(50.9%) 2021年3月期 747百万円(0.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年3月期	79.74	—	34.3	44.2	24.8
2021年3月期	55.03	—	29.4	34.9	25.1

(参考) 持分法投資損益 2022年3月期 5百万円 2021年3月期 14百万円

(注) 当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算出しております。

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	4,455	3,533	79.3	260.21
2021年3月期	3,465	2,779	80.2	204.70

(参考) 自己資本 2022年3月期 3,533百万円 2021年3月期 2,779百万円

(注) 当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算出しております。

### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年3月期	1,146	△265	△374	3,136
2021年3月期	850	△69	△271	2,629

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00	373	50.0	14.7
2022年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00	543	50.2	17.2
2023年3月期(予想)	—	0.00	—	50.00	50.00		49.1	

(注) 当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2021年3月期については、当該株式分割前の実際の配当の額を記載しております。

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	7,080	0.0	2,120	20.6	2,126	21.4	1,381	27.6	101.76

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 社（社名）、除外 社（社名）

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期	13,580,000株	2021年3月期	13,580,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期	916株	2021年3月期	550株
③ 期中平均株式数	2022年3月期	13,579,197株	2021年3月期	13,579,498株

（注）当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数、期末自己株式数、期中平均株式数を算出しております。

（参考） 個別業績の概要

1. 2022年3月期の個別業績（2021年4月1日～2022年3月31日）

（1）個別経営成績（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期	6,568	67.1	1,554	57.1	1,542	57.4	943	44.3
2021年3月期	3,931	36.8	989	47.7	979	46.2	653	42.7

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期	69.49	—
2021年3月期	48.15	—

（注）当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算出しております。

（2）個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期	3,216	2,374	73.8	174.87
2021年3月期	2,425	1,760	72.6	129.62

（参考） 自己資本 2022年3月期 2,374百万円 2021年3月期 1,760百万円

（注）当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算出しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その業績を当社としてお約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	3
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 連結貸借対照表 .....	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	6
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	11
(継続企業の前提に関する注記) .....	11
(会計方針の変更) .....	11
(セグメント情報等) .....	11
(1株当たり情報) .....	11
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が継続する中、景気の不透明感が広がる一方、多くの企業におけるDXを活用した業務改善などが活発化した影響もあり、当社サービスに対するニーズが高まりました。

当社グループが属する情報サービス業界におきましては、ビッグデータの活用や情報セキュリティ強化、ITインフラ整備といった、ビジネスを「成長」「変革」させるための戦略的な投資や、自動化・省力化による業務効率改善・生産性の向上を目的としたDX投資が堅調に持続しました。

このような経営環境において、当社グループにおきましては、安定収益基盤となるストック報酬型のビッグデータ関連事業が堅調に推移していること、及び新規サービスを軸としたサービス企画開発事業における順調な受注増加、並びに当社主力サービスではない一時的な案件の受託により、売上高は増収となりました。利益面につきましては、前年度から実施している社内リソースを有効活用するための外部パートナーとの連携強化や既存サービスにおけるシステム改修等による効率化により増益となりました。なお、新型コロナウイルス感染症の拡大による影響につきましては、従業員の安全確保のための時差出勤や在宅勤務により安全に配慮しながら事業を継続しており、当連結会計年度における業績への影響は軽微であります。

この結果、業績につきましては、売上高7,077百万円（前年同期比60.4%増）、営業利益1,757百万円（同58.5%増）、経常利益1,751百万円（同57.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,082百万円（同44.9%増）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (流動資産)

流動資産につきましては、前連結会計年度末より838百万円増加し、3,951百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加506百万円、売掛金の増加210百万円によるものであります。

#### (固定資産)

固定資産につきましては、前連結会計年度末より151百万円増加し、504百万円となりました。これは主に、敷金及び保証金の増加46百万円、建物の増加34百万円によるものであります。

#### (流動負債)

流動負債につきましては、前連結会計年度末より240百万円増加し、922百万円となりました。これは主に、未払法人税等の増加176百万円、買掛金の増加35百万円によるものであります。

#### (純資産)

純資産につきましては、前連結会計年度末より753百万円増加し、3,533百万円となりました。これは主に、剰余金の配当金が373百万円あった一方、親会社株主に帰属する当期純利益1,082百万円を計上したことによるものであります。

### (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末より506百万円増加し、3,136百万円となりました。

当連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって得られた資金は1,146百万円となりました。これは主に、法人税等の支払額331百万円がありましたが、税金等調整前当期純利益1,582百万円などによるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用された資金は265百万円となりました。これは主に、敷金及び保証金差し入れによる支出95百万円、投資有価証券の取得による支出74百万円及び有形固定資産の取得による支出65百万円などによるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動に使用された資金は374百万円となりました。これは主に、親会社による配当金の支払額373百万円などによるものであります。

### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、前期（2022年3月期）における当社主力サービス以外の一時的な売上の減少が発生する一方、当社主力サービスであるデータクレンジングを主体とした既存サービス売上が堅調に推移していること、及び当社データクレンジングプラットフォームを活用したビッグデータ処理新サービス並びにそれらに付随する案件の発生による更なる成長を見込んでおります。

次期（2023年3月期）の連結業績見通しにつきましては、売上高7,080百万円、営業利益2,120百万円、経常利益2,126百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,381百万円を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在、国際的な事業展開を行っていないため日本基準に基づき連結財務諸表を作成しております。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,629,959	3,136,796
売掛金	389,069	599,154
仕掛品	33,187	155,673
前払費用	7,605	8,410
その他	52,921	51,671
流動資産合計	3,112,743	3,951,707
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	25,247	59,309
工具、器具及び備品（純額）	11,860	24,378
有形固定資産合計	37,107	83,687
無形固定資産		
ソフトウェア	35,749	47,333
商標権	263	210
無形固定資産合計	36,012	47,544
投資その他の資産		
投資有価証券	216,266	249,593
繰延税金資産	15,270	28,719
敷金及び保証金	48,247	94,669
投資その他の資産合計	279,784	372,982
固定資産合計	352,904	504,214
資産合計	3,465,647	4,455,921

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当連結会計年度 (2022年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	322,841	357,946
未払金	64,034	77,129
未払費用	7,989	6,779
未払法人税等	212,388	389,229
未払消費税等	67,104	83,984
前受金	2,682	2,376
その他	5,182	5,078
流動負債合計	682,225	922,522
固定負債		
繰延税金負債	3,685	—
固定負債合計	3,685	—
負債合計	685,910	922,522
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	263,778	263,778
資本剰余金	253,298	253,298
利益剰余金	2,265,100	2,974,487
自己株式	△920	△1,997
株主資本合計	2,781,255	3,489,566
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,518	43,832
その他の包括利益累計額合計	△1,518	43,832
純資産合計	2,779,737	3,533,398
負債純資産合計	3,465,647	4,455,921

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
売上高	4,411,540	7,077,843
売上原価	2,670,504	4,528,808
売上総利益	1,741,035	2,549,034
販売費及び一般管理費	632,186	791,140
営業利益	1,108,849	1,757,894
営業外収益		
持分法による投資利益	14,335	5,806
その他	207	554
営業外収益合計	14,542	6,360
営業外費用		
寄付金	10,000	13,080
その他	153	—
営業外費用合計	10,153	13,080
経常利益	1,113,238	1,751,174
特別損失		
事務所移転費用	—	30,350
投資有価証券評価損	27,852	112,827
固定資産除却損	—	25,005
その他	—	722
特別損失合計	27,852	168,906
税金等調整前当期純利益	1,085,386	1,582,268
法人税、住民税及び事業税	328,747	536,595
法人税等調整額	9,433	△37,148
法人税等合計	338,181	499,446
当期純利益	747,205	1,082,821
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	747,205	1,082,821



## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
当期純利益	747,205	1,082,821
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	587	45,350
その他の包括利益合計	587	45,350
包括利益	747,792	1,128,172
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	747,792	1,128,172
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	263,778	253,298	1,789,486	△607	2,305,954
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	747,205	—	747,205
新株の発行	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	△271,591	—	△271,591
自己株式の取得	—	—	—	△312	△312
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	475,613	△312	475,300
当期末残高	263,778	253,298	2,265,100	△920	2,781,255

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△2,105	△2,105	—	2,303,848
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	747,205
新株の発行	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	△271,591
自己株式の取得	—	—	—	△312
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	587	587	—	587
当期変動額合計	587	587	—	475,888
当期末残高	△1,518	△1,518	—	2,779,737

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	263,778	253,298	2,265,100	△920	2,781,255
当期変動額					
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	1,082,821	—	1,082,821
新株の発行	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	△373,434	—	△373,434
自己株式の取得	—	—	—	△1,076	△1,076
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	709,386	△1,076	708,310
当期末残高	263,778	253,298	2,974,487	△1,997	3,489,566

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	△1,518	△1,518	—	2,779,737
当期変動額				
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	1,082,821
新株の発行	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	△373,434
自己株式の取得	—	—	—	△1,076
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	45,350	45,350	—	45,350
当期変動額合計	45,350	45,350	—	753,661
当期末残高	43,832	43,832	—	3,533,398

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,085,386	1,582,268
減価償却費	24,899	26,381
受取利息	△10	△14
固定資産除却損	—	25,005
投資有価証券評価損益 (△は益)	27,852	112,827
持分法による投資損益 (△は益)	△14,335	△5,806
売上債権の増減額 (△は増加)	31,853	△210,084
仕掛品の増減額 (△は増加)	8,158	△122,485
前払費用の増減額 (△は増加)	961	△805
仕入債務の増減額 (△は減少)	109,128	35,104
未払金の増減額 (△は減少)	1,723	△1,647
未払費用の増減額 (△は減少)	△637	△1,210
前受金の増減額 (△は減少)	△234	△306
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△23,424	34,044
その他	242	5,575
小計	1,251,563	1,478,846
利息及び配当金の受取額	10	14
法人税等の支払額	△400,659	△331,879
営業活動によるキャッシュ・フロー	850,915	1,146,981
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△9,361	△65,801
無形固定資産の取得による支出	△12,544	△29,345
投資有価証券の取得による支出	—	△74,983
関係会社株式の取得による支出	△47,700	—
敷金及び保証金の差入による支出	—	△95,019
投資活動によるキャッシュ・フロー	△69,605	△265,149
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	—	—
自己株式の取得による支出	△312	△1,076
配当金の支払額	△271,293	△373,918
財務活動によるキャッシュ・フロー	△271,606	△374,994
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	509,703	506,837
現金及び現金同等物の期首残高	2,120,255	2,629,959
現金及び現金同等物の期末残高	2,629,959	3,136,796

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。これによる連結財務諸表に与える影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、「WEBマーケティング事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり純資産額	204.70円	260.21円
1株当たり当期純利益金額	55.03円	79.74円

(注)1. 当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益を算出しております。

2. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)	当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	747,205	1,082,821
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	747,205	1,082,821
普通株式の期中平均株式数(株)	13,579,498	13,579,197

(注)当社は、2021年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。当連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、期中平均株式数を算出しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。